



時代の変化に合わせて

魔法のwallet 成果報告会
盛光秀之 | 川崎市総合教育センター

◎研究の目的

読み書きが苦手で学習に意欲を失った小学校高学年の児童が中学校で評定3を取るにはどうすればよいか？

小学校6年生から介入して現在中学校2年生

定期テストの問いに答えるため
には何が必要か？
学力のシンプルな方法論とは？

学力の定着を図るために大切なことは

- ●超効率勉強法 著者DAIGOより引用
- 超効率勉強法の基本となる「想起」と「再言語化」
- 真に効果が高い勉強法には、積極的に学ぶ「アクティブラーニング」という共通項がある。アクティブラーニング化の2大ポイントは、「想起(思い出すこと)」と「再言語化(自分の言葉に置き換えること)」だ。

何故読み書きが苦手だと学力が落ちるかのメカニズム

- 読み書きが苦手だと時間内に終わらない。
- 何度やっても定着しない。
- 反復練習ができないので想起の回数が少ない。
- 想起の回数が少ないので、語彙や知識が増えない。
- 新しい言葉が増えるにしたがって、脳内は混乱状態が続く。
- やってもできない経験が繰り返されると学習無力感を育てる。
- どうせ自分はダメなんだ。苦手な教科は全部と答えるようになる。
- さて、ここからどうするかが今日の報告

出会いから、小学校卒業まで

母親が相談室へ相談を申し込む

●今までの経緯

- ・本人は努力しているが、中々学習が定着しない。
- ・病院、療育センター、児童相談所など様々な機関で相談したが本人の困り感
は解消できなかった。

●本人の良い点

- ・友人関係は良好である。
- ・バレエを習っていて、今後も続けていきたいという希望がある。
- ・計算はケアレスミスがあるが、概ね理解できている。

●課題

- ・4年生から学校が楽しくないと言い出し、早退が増えた。
- ・年を重ねるごとに学習と向き合おうとしなくなっている。

対象児童の状況（本人から）

●困っていることは？

- ・漢字が覚えられない。
- ・明日の漢字テストなら50点くらいは取れるけどすぐに忘れてしまう。
- ・板書すると疲れてしまう。

●願い

- ・漢字を書けるようになりたい。

対象児童の状況（担任から）

- ・ 友人関係は良好である。
- ・ 学習面以外は特に問題はない。
- ・ 真面目で素直である。
- ・ 取り出し指導をしているがどんな指導が効果的かわからなくて困っている。
- ・ 学習状況調査は10分もするとあきらめていた。

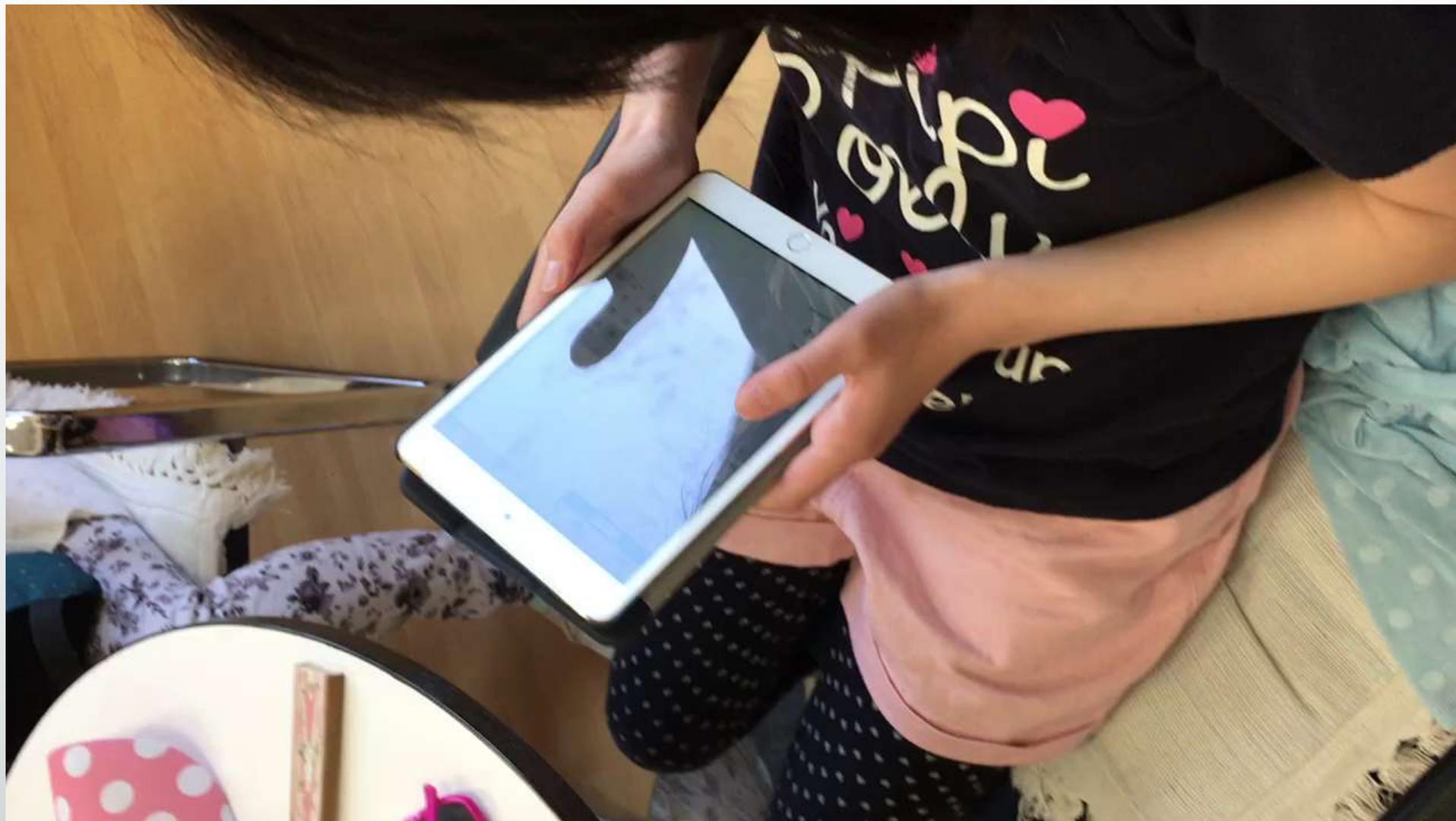
対象児童の状況（相談室での様子）

- ・ 片仮名は読めていなかった。
- ・ 漢字が入る文章もたどたどしい読み。
- ・ 図形認識が苦手な様子あり。

担当心理士より「会話の疎通が良く知っている知識も多かった。発達検査の結果より認知能力はもう少し高いような印象を受けた。」

真面目で素直な女子児童
問題行動はなく、対人関係良好
学習は訓練すればできると教え
られ反復練習を続ける
でも・・・

会った時の読みの様子



成功体験を積み重ねるために 小学校6年生

困難の状況

①読みの困難さ：漢字を読むことや、どこで区切るのかがわからなくなる。文字を音にする速度が遅く、読んだ後に自分でも理解ができなく、問題を解くのをあきらめてしまう。

②書きの困難さ：ノートテイクすることはできるが、字形が整わず意味を理解しながら写したり、考えたりすることが難しい。作文は苦手である。

具体的支援

- ・音声読書で語彙を増やす
- ・音声教材や動画を使って教科の内容理解を深める
- ・テキストの音声読み上げ
- ・選ぶことから読み書きへつなげる取り組み
- ・遠隔でサポート

利用したアプリ



音声読書で語彙を増やす (使用したアプリ: kindle、青空文庫)



活動の具体的内容

理解力は十分あると感じたので、まずは好きな本を選んで聞く活動を取り入れた。本人の希望で「竹取物語」「美女と野獣」を選択したので、いつでも聞けるように使用方法を確認した。

音声教材や動画を使って教科の内容理解を深めるために
(使用したアプリ: いーリーダー、NHK for School)
(使用した教材: 学研のやさしくまるごとシリーズ)



活動の具体的内容

いーリーダー：教科書の内容を音声で確認することで、内容の理解を進める。

NHK for School：理科や社会の予習復習

まるごとやさしく小学理科：理科をもっと得意にしたいという本人の希望から、休みがちだった4年生の内容から遡って学習を進めた。

学校にお願いしたこと

音声支援が有効なので、可能な範囲でテストの読み上げを

書けるが内容理解が進まない恐れがあるので、聞くことに集中させて、ノートテイクは重要語句中心に

選択式で読める漢字を増やす

(使用したアプリ:漢字検定 よみがな特訓

小学漢字 よみかたクイズ)



活動の具体的内容

漢字の書きについては、他機関で取り組むとのことなので、こちらでは読みに重点を置いて指導することにした。いくつか試したところ本人が一番気に入ったこのアプリを使用した。

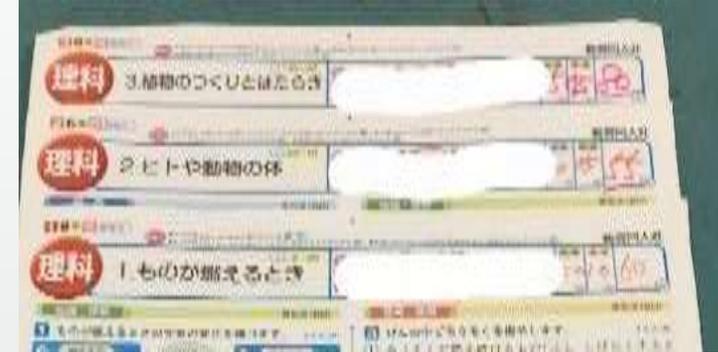
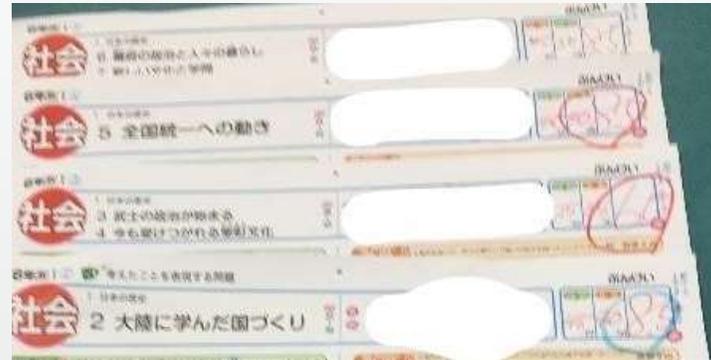
テキストの音声読み上げ (使用したアプリ: office lens タッチ & リード)



活動の具体的内容

対象児の読みの困難さから、紙媒体からのOCRでテキストに変換して、音声読み上げをするスキルは必須であると考えて。そのため今後テストを受けるときに使えるスキルとして練習をした。

テストの結果は徐々に効果を上げ始める ただし、国語以外



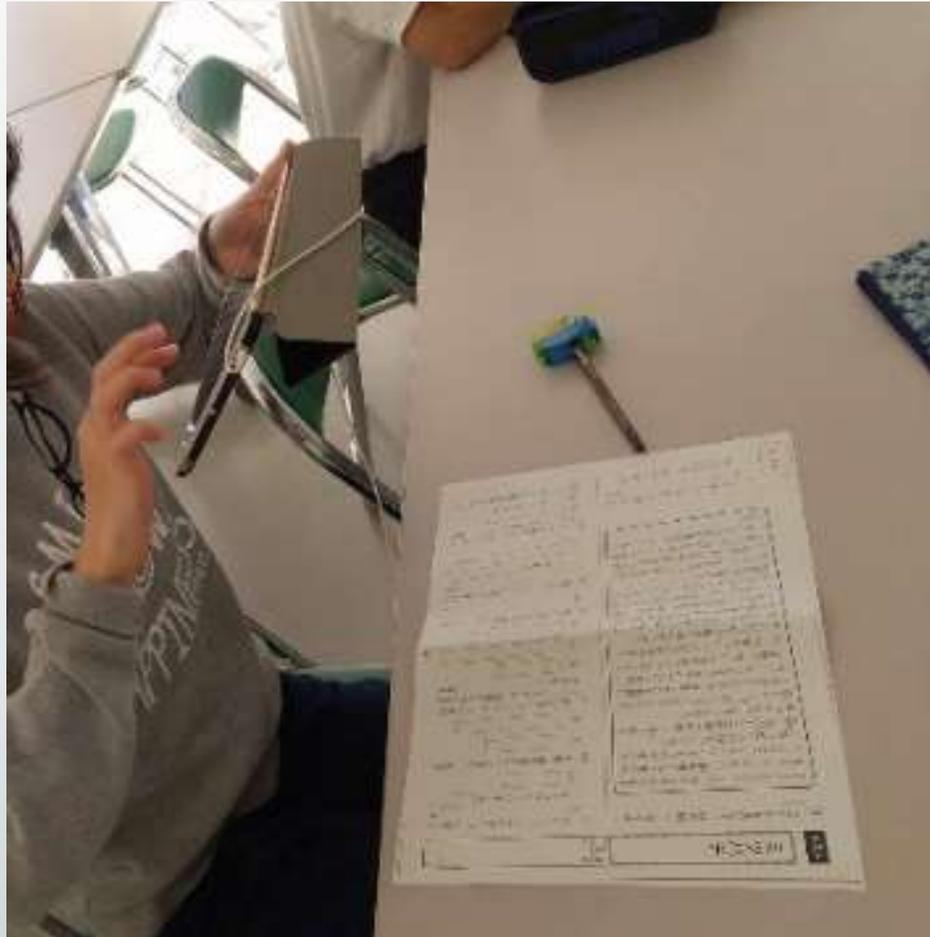
本人コメント

国語は、ほとんど勘で解いている。

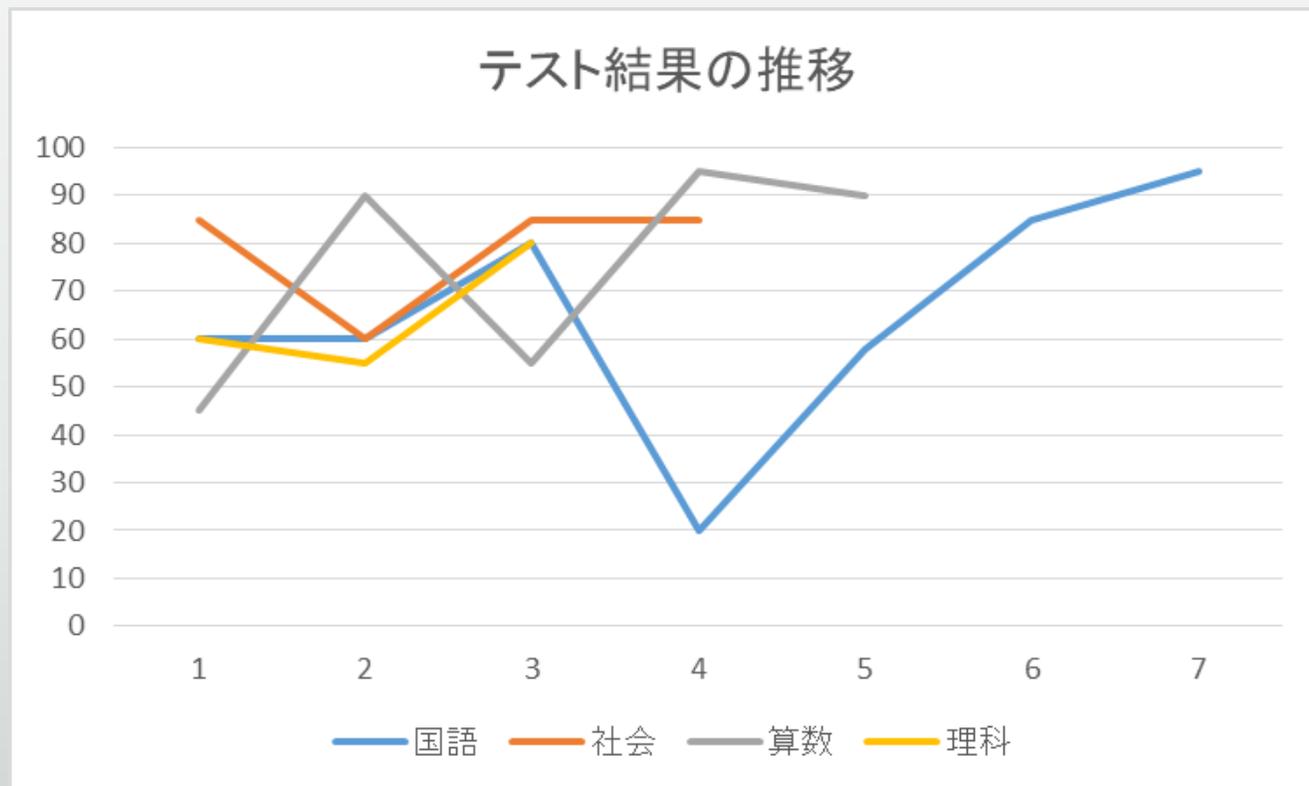
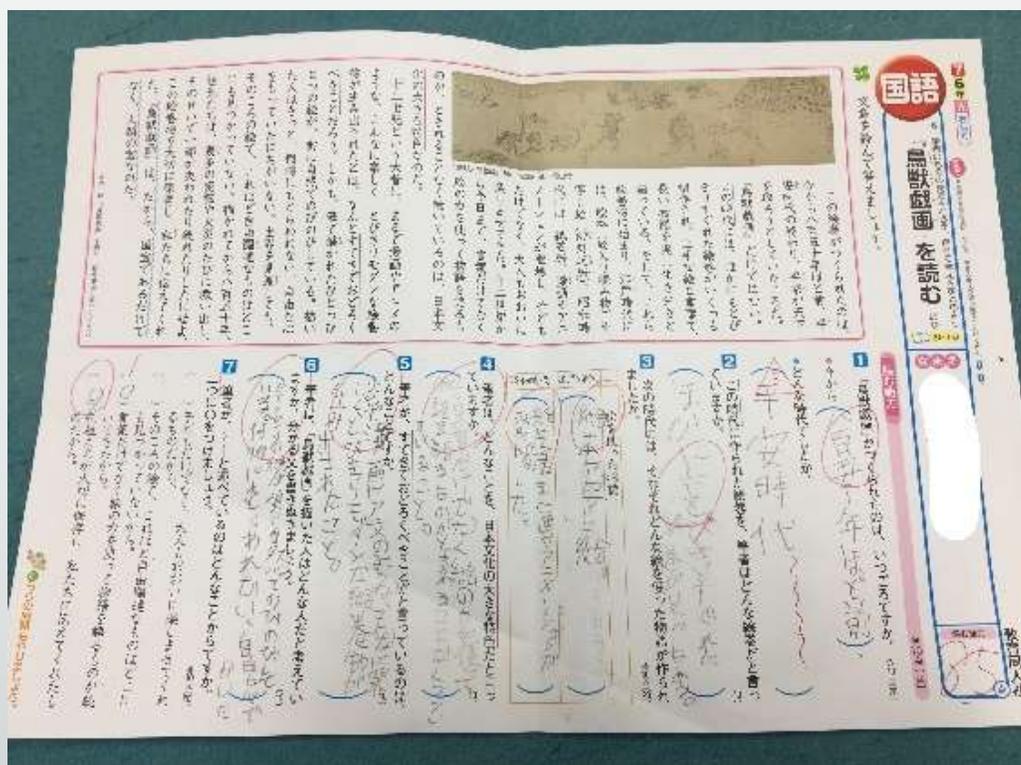
読んでもらえば、わかるかも。

でも、国語は読んでもらうのは気がひける。

そこで、別室でのiPadを利用したテストを試してもらったところ



8割を超える結果が iPadを利用した別室でのテスト



遠隔でサポート (使用したアプリ: by talk for school)



活動の具体的内容
本人と会えるのは月に1～2回で1回50分なので、基本は遠隔でやりとりをした。最近はお互いの趣味やテレビの話題で盛り上がっている。学校の学年便りなどを写真で送ってくれるので、授業の進捗についても確認できた。

そして中学校入学から現在まで

対象生徒の現在の状況

- 中学2年生 女子生徒

良さ: 対人面、真面目、音の記憶力、勘の良さ

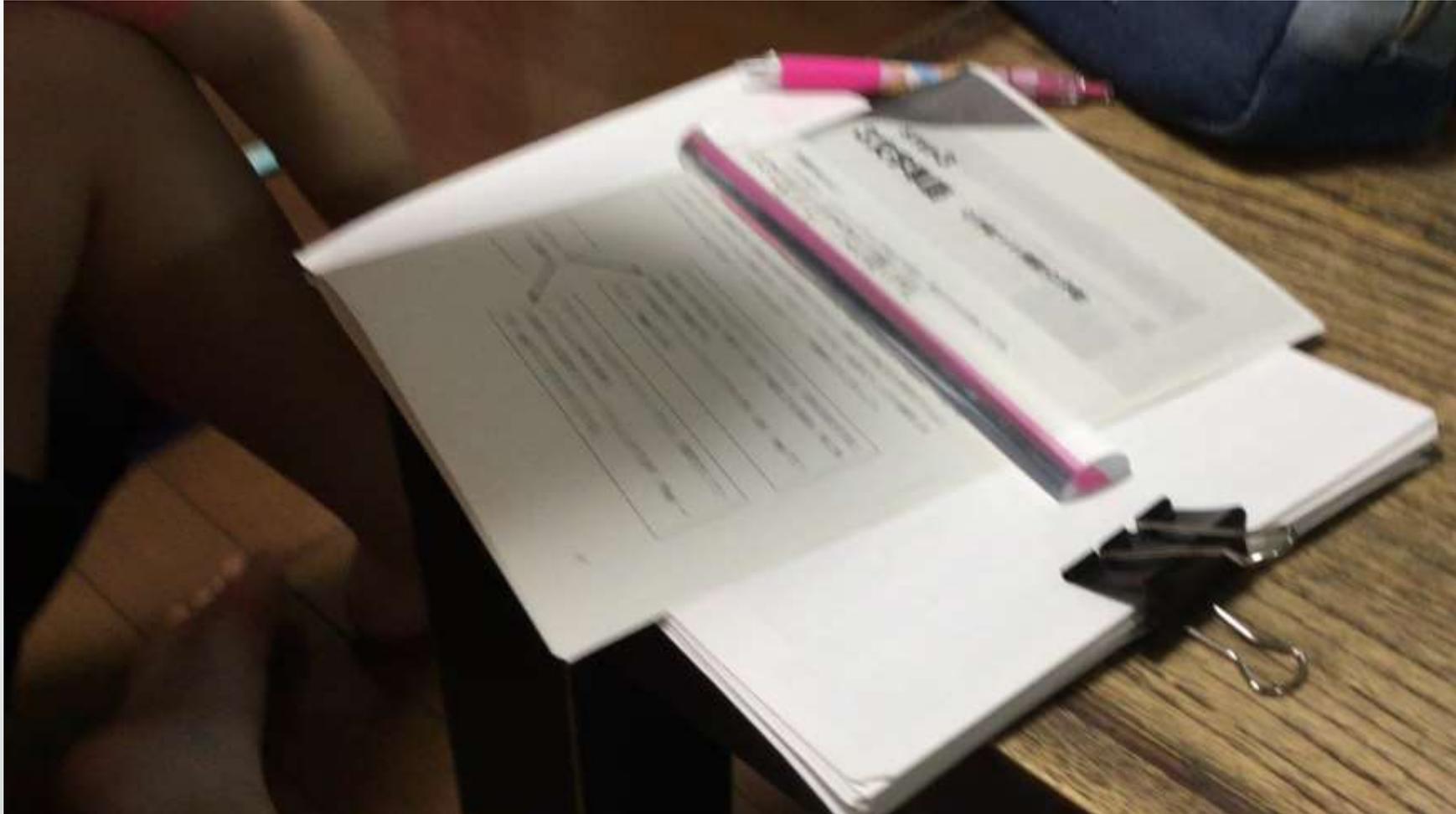
困難さ: 読み書き、スケジュール管理、見え方がユニーク

学校で受けている支援: 教室内iPad利用、定期テスト別室iPad利用

担当者の支援: 月に1~2回程度の家庭訪問と、LINEを使った支援

本人の希望: 高等学校へ進学して、将来は医療関係の職に就きたい。

現在の読みの様子



現在の書字の様子

いるかな? ... また、どんな対策をして

<p>災害名 (津波)</p> <p>起る原因 地震が起き、海水が かき上げられて、津波が くる。 海岸の地形が変化して おこる。</p> <p>対策 堤防・防波の設置 津波けいしきで S. 高所に避難</p>	<p>災害名 (台風)</p> <p>起る原因 赤道低気圧が 台風になる。 日本南側の海上 海水が深い</p> <p>対策 天気予報 家にいるときは窓の 日に閉める</p>	<p>災害名 (大雪)</p> <p>起る原因 雪が長く降り、だんだん 強くなる。 季節風の影</p> <p>対策 こたしを敷き、 建物の大道路</p>
<p>災害名 (洪水)</p> <p>起る原因 大雨が降り、川のがたが 上がるから 川が溢れる 川がはた</p> <p>対策 堤防 川をせき止める ハザード</p>	<p>災害名 (虫害)</p> <p>原因 害虫の影響 夏も気温が上がる 稲などの農作物に被害 がくる。</p> <p>対策 品種改良 農薬の散布</p>	<p>災害名 (干ばつ)</p> <p>雨が十分に降らない 年ごと。</p> <p>対策 凍原の融雪 ため池の設置 送水</p>

おぼえ

中学校1年生

困難の状況

読みの困難さ
書きの困難さ
スケジュールを忘れてしまう
計画を立てることが難しい
中学校で同様に配慮を受けられるか

具体的支援

- ・ 中学校への移行支援をして、学校でICT利用することにより対象生徒の学びを保障する。
- ・ 定期テストの別室 i P a d 利用の許可をもらう。
- ・ 書きの困難さ軽減
- ・ 思考の整理や振り返りの困難さへの支援
- ・ 音声記憶の良さを生かす支援

利用したアプリ



中学校2年生

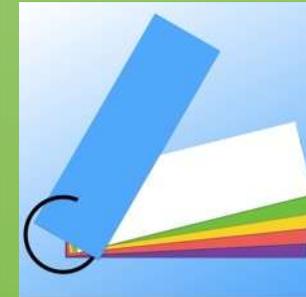
困難の状況

**読み書き
アルファベットの混乱
整理整頓
計画を立てることが難しい**

具体的支援

アルファベットの音と文字のマッチングと共通する法則の確認を行った。
物理キーボードを使い、打ち込んだ後読めるようにした。
AccessReadingに申し込み、本人が教科書の必要な部分を抜き出し音で聞けるようにした。

利用したアプリ



○成果

学習には意欲的

先生にも積極的質問

自分なりの学習方法の定着

好感度も高く意欲を評価されている

ほぼ評定3をキープ

ただ、今振り返ってみると……

今振り返ってみると考えたい視点

- ① 苦手なことを訓練でなんとかしようとしたこと
- ② 配慮申請のステップに本人参画を曖昧にしたこと
- ③ 英語のアプローチ方法

① 苦手なこと「書くこと」を訓練でなんとかしようとしたこと

- 書く速度が速くなっている。⇒ 黒板をノートに取る場合
- 書く速度が変わっていない。⇒ 自分で考えて書く場合

本人の意思を尊重して
書き文字を優先してきたが
客観的に見ると . . .

②配慮申請のステップに本人参画を曖昧にしたこと

- 小学校6年生⇒別室で読み上げテスト、タッチ&リードを使っのテスト
- 中学校⇒定期テスト別室受験iPad利用、教室内iPad持ち込みの許可を得たが

結局教室では使っていない・・・

全て保護者中心で動いてもらったが・・・

思春期の生徒が他と違うのは抵抗があった
次は本人と一緒に学校と相談する予定



③英語のアプローチ方法

- 書きは難しいと思い、並び替えと音声を中心に学習を組み立てたが...

凸凹の輝く教育

ツール（27） Word Wizard



教師と単語を音で聞いて、再現する練習をする女子生徒（右）＝東京都中央区



◆音から覚える単語のスペル

英語の「b」と「d」を読み間違える。「p」と「q」も判別が難しい。大きな文字を見て書き写すことはできるが、スペルを想起して書くのはひと苦労だ。読み書き障害の子どもたちには、国語以上に、英語の壁が高い子たちも少なくない。

その1人、川崎市の公立中学2年の女子生徒（13）は、「社会は大好き。でも英語は嫌！」と言う。高校入試まで1年半足らずとはわかっているが、どうしても英語

A woman with dark hair in a ponytail, wearing a white sweater and a black headset with a microphone, is shown in profile. She is looking towards a computer monitor on the left side of the frame. The background is a plain, light color.

英検の新しいカタチ、 英検CBT[®]

英検CBT (Computer Based Testing) は、
コンピュータ上で受験する英検です。
合格すると従来の英検と同じ資格が得られます。
新方式の「英検CBT」で4技能を1日で受験。



2年生の春から始めた英語の学力をつける取り組み

- STEP 1 正しいフォニックスを覚えて、聞き分けることができるようになる。
- STEP 2 母音に注目して 子音＋母音子音の音を聞き取りアルファベットで書けるようになる。
- STEP 3 子音＋子音の音を聞き取りアルファベットで書けるようになる。
- STEP 4 ダイグラフを理解する
- STEP 5 マジックe を理解する

参考図書：明治図書 読み書きが苦手な子どものための英単語指導ワーク

STEP 1 フォニックスを覚える Word Wizard



STEP 1 フォニックスを覚える アプリ検索で「フォニックス」



- 動画挿入予定

STEP 2 母音に注目して3文字の単語が書ける、発音できる。

- 動画挿入予定



STEP 3 子音+子音の音を聞き分ける

- 動画挿入予定



マジックeの理解を



キーボードで入力して文法の理解を

- 動画挿入予定

現在の結論

- 成功体験を積むには小学校高学年ならすぐに代替を検討する。少なくともテストを読み上げ実施で試すことは有効。
- キーボードを使える力は養っておく。
- 本人が自分を理解して配慮を申請できるようなステップで考える。
- 全員PCがあっても、当分は専門家は必要。本人の叶えたいスキルが動画で参照できるようになれば専門家は不要になるかもしれない。それでも見立てる人は必要。

社会の変化スピード 熱意や挑戦する心を育てていく

The image shows a website banner for LABOT. The background is a blurred photograph of a desk with a laptop, a smartphone, and a pen holder. The text is overlaid on this background. At the top left is the LABOT logo. At the top right are links for 'LABOT Inc.' and 'About us', and a search icon. The main headline is '人の可能性に投資する' (Investing in human potential). Below it is a sub-headline: 'LABOT は、ISA による新たな教育モデルを日本で初めて挑戦します。' (LABOT is the first to challenge a new education model in Japan using ISA). At the bottom center, there is a pink button with the text '2020年1月~4月入校、申込み開始' (School start from January to April 2020, application starts).

LABOT

LABOT Inc.

About us



人の可能性に投資する

LABOT は、ISA による新たな教育モデルを日本で初めて挑戦します。

2020年1月~4月入校、申込み開始

読み書き障害の場合 ICTを利用すればなんとかなる??

●悩ましい点

タイミングの問題

純粹に読み書きだけってケースは少ない??

学校や家庭など環境要因

本人の特性に応じたフィッティングが必要

新しいアプリや先端の技術を知る

○現在おすすめする確実な方法
家庭で使用スキルを獲得すること
キーボードをタッチできるスキル
音声学習

ICTとの付き合い方はしっかり教える。
スクリーンタイムなどを使うこと。
やはり学びの定着には習慣と生活
できたという成功体験が人を変える

今後の予定

①神奈川県立高等学校入学者選抜より

※中学校の定期検査での配慮が基本となりますので、中学校の先生とよく御相談してください。

⇒配慮申請は必須だと思っています。

②可能なら英語のキーボード入力の試験を試してみたい。

参考書籍

